

はくさい、だいこんの価格動向について

はくさい、だいこんの価格動向について

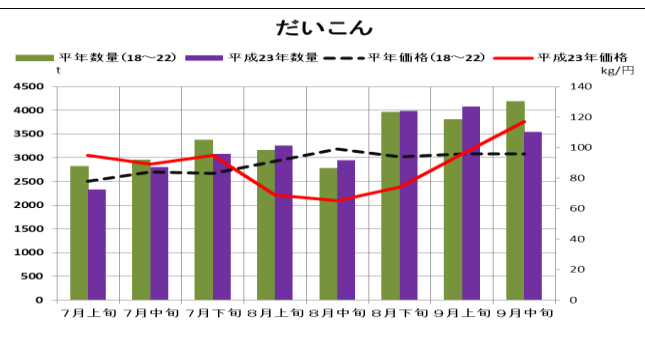
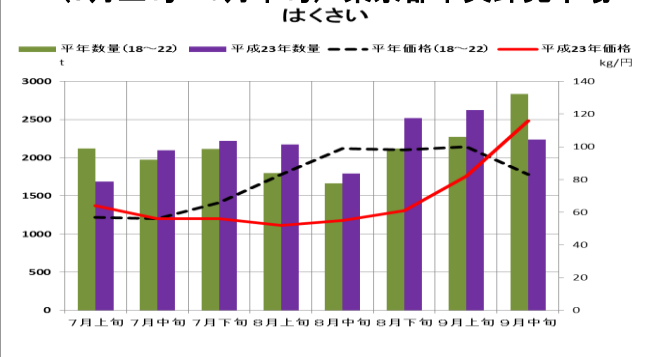
8月上旬から価格が低迷していたが、9月上旬から上昇に転じ、平年を上回る価格となっている。

これは、それぞれの主産地である長野、北海道が8月中下旬からの長雨、台風12号の降雨による病害の発生、さらには台風15号による収穫作業・輸送の遅れにより、出荷量が減少したことによる。

台風後は、生育が回復してきており、また、後続産地の茨城（はくさい）、千葉（だいこん）は台風の被害も少なく平年並みの出荷開始が見込まれることから、10月中旬以降は順調な出荷になると思われる。

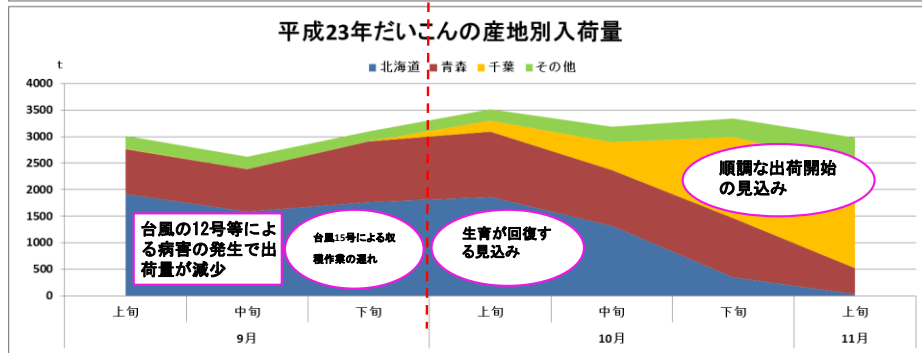
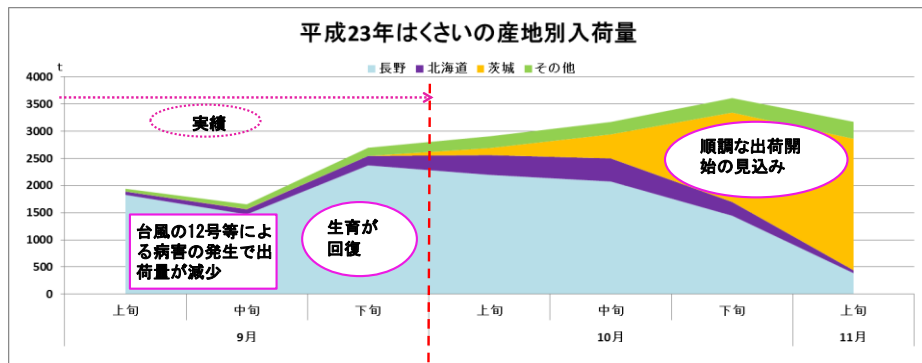
一方、気温の低下とともに、はくさい、だいこんの需要は増加するが、出荷が順調となれば価格は平年並みに戻り、安定して推移するものと思われる。

はくさい、だいこんの旬別入荷量と価格の推移 (7月上旬～9月中旬) 東京都中央卸売市場



資料：青果物情報センター

はくさい、だいこんの産地別入荷量の推移



資料：ベジ探（原資料）農水省「青果物日別取扱高統計結果」、青果物情報センター
23年9月までは9/29までの実績値を基に作成、10月以降は21年の実績値による。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 <http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01.000076.html>